

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

下妻市長 菊池 博

市町村名 (市町村コード)	下妻市 (82104)
地域名 (地域内農業集落名)	下妻・総上地区 (下妻、長塚、石の宮、小島、古沢、袋畑、二本紀、今泉、中居指)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年3月3日 (第3回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

市街地では小規模な農地が点在しており、集積・集約が難しくなっている。また、農道が狭小で傾斜もあり車両での通行が困難な場所が多数ある。
また地区東部では工業団地が造成中のため、周辺の農地も売買がおこなれており、耕作されていない農地が目立っている。今泉地区の国道125号線近辺では、排水路と圃場の高さが同じで耕作が難しい水田があり、圃場整備事業等を検討していく必要がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

主要品目は水稻。水田転作として小麦、そば等の普通作が中心。地域内には畜産経営体もあり、主に豚の肥育が行われている。市街地周辺では保安全管理や遊休農地が増えてきているが、耕作条件が悪いため、担い手もなかなか請け負うことができない。一方、地区東部では大規模な土地改良事業を行っており、完了後はほぼすべての農地が担い手へ集積される見込み。その他、二本紀、今泉、中居指地区では、農地中間管理事業発足当時に機構集積協力金を活用した大規模な集約を行い、集積および集約がほぼ完了している。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	281 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	267 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針

農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。集約を進めるためには大規模農業者同士で協議、調整し農地交換や引継ぎを行う必要がある。総上地内では土地改良事業施工中であり、完了後には担い手にほぼすべての農地が集積される見込み。また、二本紀、今泉、中居指地区では平成27年度に大規模な集約を行っているため、今後も離農者等があれば担い手への集約をすすめていく。

<p>(2)農地中間管理機構の活用方針</p> <p>土地改良事業エリアや二本紀、今泉、中居指地区を除くと中間管理機構の利用率が低いため、地権者に対する説明会等を行い機構活用のメリットを周知していく。</p>
<p>(3)基盤整備事業への取組方針</p> <p>総上地区では令和3年度から土地改良事業を行っており、1期、2期工事が完了。令和7年度に3期工事が完了し竣工となる(約100ha)。二本紀、今泉地区では用水のパイプライン化に現在取り組んでいる。その他地区でも大区画化および段差や排水不良等の解消などを図るため、基盤整備の活用を検討する。</p>
<p>(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <p>市街地を除けば現状担い手は確保されている。畑作での新規就農者も増えており将来においても担い手が確保できている。今後も新規就農者がいれば、栽培技術や農地確保のアドバイスをするなど、定着までの支援を行う。</p>
<p>(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針</p> <p>地域内では主だった農業支援サービス事業者が存在しないため直近で活用の予定はないが、事業者が現れた際は地域内で活用を検討する。</p>

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他
<p>【選択した上記の取組方針】</p> <p>③補助事業等によるスマート農業の導入を推進していく。</p>						